

事業所名 めやすばこ きっずぶらす

支援プログラム

作成日 2024年 12月 1日

法人（事業所）理念	・利用者主体のニーズの追求 ・ナンバーワンの福祉サービスを目指す ・職員が働きやすい職場作り		
支援方針	・小学校や相談機関など関係機関と密に連携を取りながらお子さまの支援を行います。 ・担当者だけでなく職員全員でお子さまの支援を考えていきます。 ・お子さまの年齢やニーズに合わせて、個々に合ったねらい、活動の進め方を検討していきます。		
営業時間	12時 00分から 18時 00分まで	送迎実施の有無	要相談 ※基本的にはご家族での送迎をお願いしています。
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	・日常生活における基本的な動作や自立を目指して、準備から片付けまでの流れを視覚的な指示を見ながら自分で行ないます。 ・スケジュールを活用することで、見通しを持って日々のルーティンなどやるべきことを自立的にできるようにサポートします。 ・安定した生活のため、ご自身とご家族の双方の思いを取り入れながら、お子さまに合った生活リズムについて考えていきます。	
	運動・感覚	・様々な活動を行いながら、お子さまの興味関心の幅を広げられるようにしていきます。 ・お子さまが興味を持てる活動に取り組むことで、「新たにやってみよう」という意欲を育てていきます。 ・事業所外で体を動かす活動を体験する時間を設けることで、体の使い方を習得したり、得意なことを発揮できる時間をつくったりしていきます。	
	認知・行動	・物事を説明する方法や自身の意見の伝え方、受け取り方を学び、様々な場面で対応できる力を身に付けていきます。 ・お子さまにとって聞きやすい文章量、話の長さ、視覚指示の必要性などの確認を行い、お子さまに合わせた伝え方で、説明の理解を促していきます。 ・感情コントロールのための自分自身での対処方法や、他者に行ってほしい対処方法について一緒に考えていきます。	
	言語コミュニケーション	・状況に応じてどのような言葉をどのタイミングで使用するのか、場面ごとに考えていき、他者に伝わる言葉や伝え方を学びます。 ・チクチク言葉やフワフワ言葉など、抽象的な言葉の意味を具体化しながら知らせ、他者との関わりの中での言葉の選び方を考えていきます。 ・困ったことや助けてほしいこと、手伝ってほしいこと等の要求について、事前にセリフや視覚的な提示物（ヘルプカード）の使い方を確認した上で、実施練習を行います。	
	人間関係社会性	・自分自身の取扱説明書（好き・嫌い、得意・不得意、場面に応じた自分への対応方法等）を作成しながら、自己理解を深めていきます。 ・他者との関わり方について、相手の状況や気持ち、それに合わせた声掛け等を整理し、場面に合わせた対応方法を一緒に考えていきます。 ・SST（ソーシャルスキルトレーニング）で「こんなときどうする？」を一緒に考えていきます。 ・小学校やご家庭で実際に経験した場面を使って、自身の行動や思いを振り返ることもしていきます。	
家族支援	・懇談や日々の情報共有 ※一番身近な支援者であるご家族へのサポートを重視しています。	移行支援	・移行書、サポートブックの作成 等
地域支援・地域連携	・小学校や学童保育への見学実施	職員の質の向上	・外部講師の方を招いた勉強会などを定期的にも実施
主な行事等	合同夏祭り（法人内児童発達支援事業所と一緒に実施）、宿題サポート、クッキング活動、お買い物活動 等		